

EMSニュース 第47号

2015.2.19

EMS マネジメント

レビューを実施しました。

目次

・EMS マネジメントレビューについて 1 ページ

・実験系作業部会からのお知らせ 2 ページ

・電気・ガス・重油使用量について 3 ページ

・節電パトロールの実施について 4 ページ

有機溶剤を取扱う際の注意事項(掲示内容)の一部変更のお知らせ 5 ページ

出雲キャンパス EMS実施委員会

医学部及び附属病院 EMS対応委員会

2月9日に松江キャンパスにおいて、小林学長による EMS マネジメントレビュー(見直し会議)を開催しました。EMS が適切かつ有効であることの確認のため、年に一度実施されることになっています。医学部・附属病院 EMS 対応委員会委員長の小林委員長から平成 26 年度の出雲キャンパスでの EMS の取り組みについて説明を行いました。学長から今年度の反省点と来年度に向けた課題として次の事項が挙げられました。

- ・出雲キャンパスで運用している化学物質管理システムから全学展開としている化学物質管理システム(島津版)への移行を進め、大学全体としての薬品管理体制を構築願いたい。
- ・EMS活動への学生の参加や市民公開講座参加の拡充については、内容等を一考する必要があるのではないか。
- ・ISO14001やISO9001等の出雲キャンパスで取得された認証は外部評価の評価点としてHPを通じて広報していく。



実験系作業部会からのお知らせ

松江・出雲キャンパス統一 Web 化学物質管理システムへの移行について

出雲キャンパスは、労働安全衛生上の 2 つの事業場（医学部、附属病院）があり、多種多様な化学物質を使用、保管しています。法令遵守（compliance）と社会的責任（social responsibility）の面から、化学物質の漏えい防止、環境汚染の防止、適正管理等が要求されています。そのため、出雲キャンパスでは H23.6 月より Web 化学物質管理システム（MaCSU:マックス）を導入し、薬品の管理を行ってきました。次年度より松江キャンパスでも Web 化学物質管理システムを導入することが決定したことから、両キャンパスで統一の Web システム（CRIS）を導入することとなりました。新システム導入にあたり、これまで出雲キャンパスで行ってきた管理上の方針は変わりませんが、新システムでは操作法の変更を余儀なくされます。各講座・部署にはご苦勞をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。

今後、Web 化学物質管理システムをより良く運用していくためには、教員、職員、研究員、学生のみなさまのさらなる協力が不可欠であり、島根大学全体として運用していくことが重要となります。これまでの協力に感謝しつつも、更なるご協力をお願い致します。

English Q and A ダウンロード

重要なお知らせ

研究室管理者ID申請 **new**

使用量の管理について **new**

【重要】薬品マスターについて **new**

既存薬品の登録について **new**

研究室管理者ID申請書の提出について **new**

広報記事

CRIS専用メール **new**

トピックニュース

ブラウザ対応状況

推奨周辺機器

新規ログインID申請

部局管理者用

研究室管理者用

現在のシステム状況

| | |
|------|-----|
| 在庫数 | 335 |
| 使用数 | 3 |
| 研究室数 | 21 |

よくある質問

推奨する対応ブラウザを教えてください。

在庫登録をすでに行った薬品のデータを訂正したいのですが、どうしたらいいですか。

使用量の入力を間違えてしまいました。

「在庫登録」のボタンを押しても登録がされません。

在庫一覧などで「検索実行」ボタンを押しても反応がありません。

◆重要なお知らせ◆

研究室管理者ID申請

研究室管理者のID申請をよろしくお願いいたします。ID申請の「管理部署(研究室)の部屋の選択」につきましては、研究室管理者の部屋を選択ください。CRIS取扱説明書105ページ以降及びQ and A(10研究室管理者ID申請)を参照ください。

CRIS専用メール (作成:2015/01/30 by 施設企画課)

CRIS問合せ用メールアドレスを作成しました。ログイン後、画面右上の「Mail」からお問い合わせください。

新化学物質管理システムのログイン画面

バーコード管理となります。

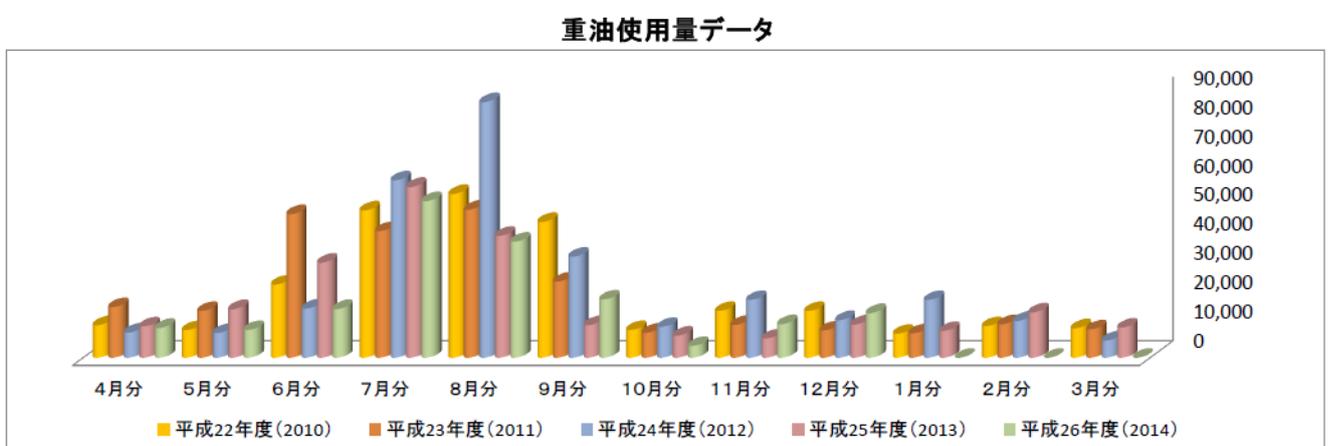
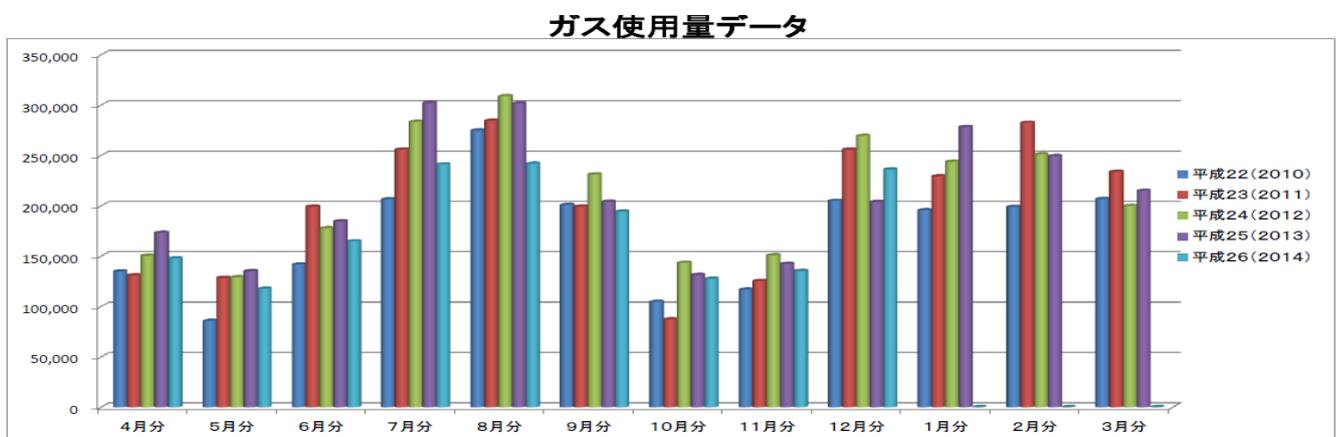
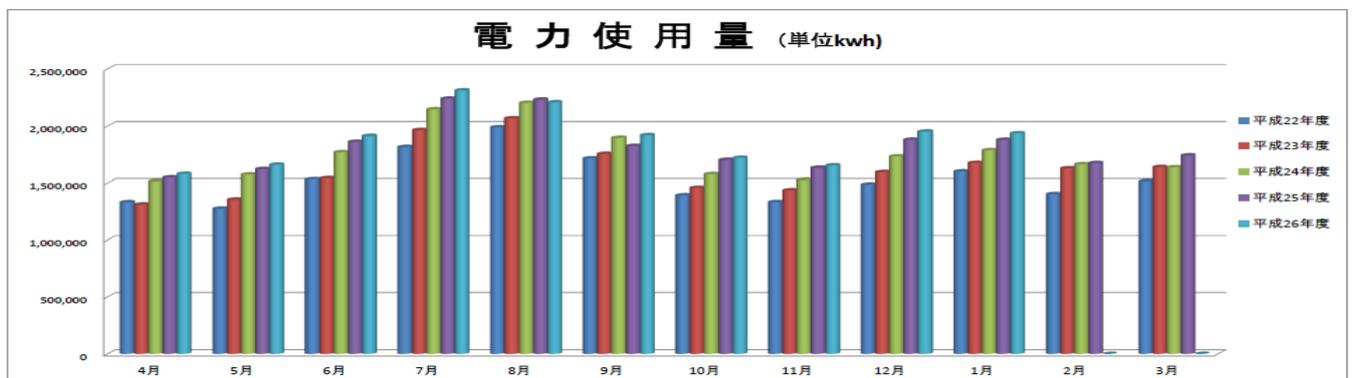
移行については各部署の毒劇物保管責任者の皆様にご協力いただき、次年度中に進めていく予定です。

電気・ガス・重油使用量のお知らせ

平成26年度の電力、ガス、重油使用量は以下のデータのとおりです。

平成25年度に行った基礎研究棟改修工事及びR I・動物実験施設改修工事に伴う空調設備更新により、中央熱源及びガス式空調から電気式空調へ更新したことによるものと電力会社との契約電力更新（増加）に伴い、自家発電設備（ガスエンジン）の運転時間が短縮され、電力会社から購入する電力量が増加したことにより、電気使用量は前年同期と比較して増加傾向にありました。

出雲キャンパスの節電目標は、「病院の機能の維持に支障がない範囲で、自主的に取り組む」としていますが、院内においても可能な範囲で節電を心掛けていただきますようお願いいたします。附属病院以外の建物でも冬季の暖房は「20℃設定」を心掛け、「ウォームビズ（衣服の調整等）」で乗り切るようご協力をお願いいたします。



節電パトロールを継続しています。

平成26年6月27日～9月26日に施設企画課・施設整備課職員により節電パトロールを行いました。

パトロールでは次のことについて調査しました。

- ① 部屋の温度測定
- ② 個別空調の設定温度確認
- ③ 空調フィルター汚れ調査
- ④ 不在時の空調運転調査
- ⑤ 不在時照明点灯調査

個別空調の設定温度について215箇所確認しました。

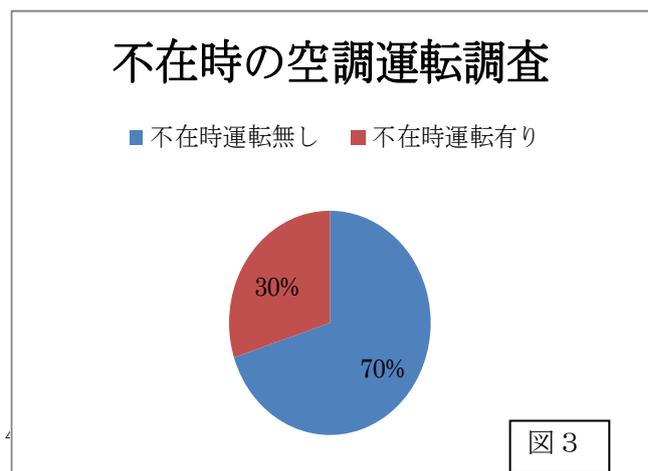
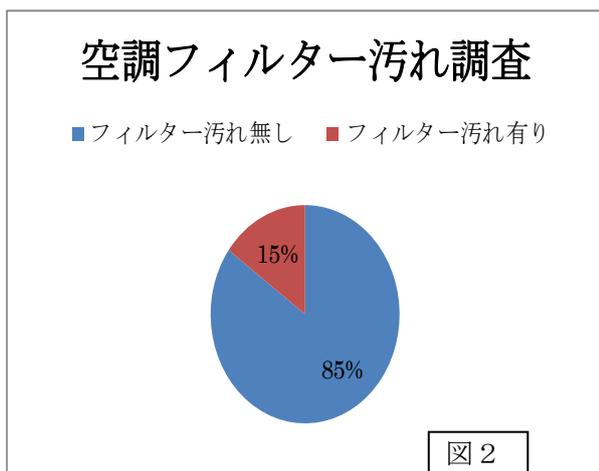
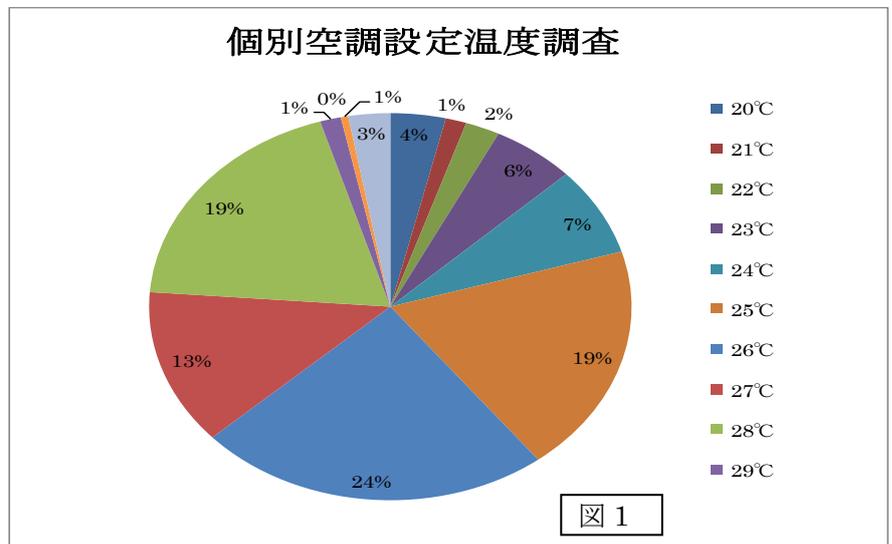
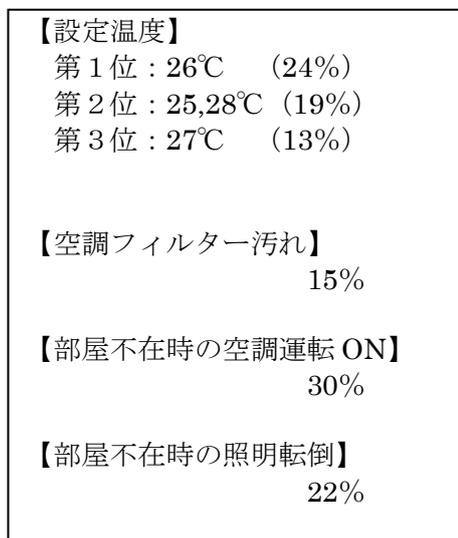
一番多かった設定温度は26℃で全体の24%でした。(図1)

2番目に多かったのが25℃と28℃の設定で19%，3番目は27℃の設定で13%でした。冷房時の目標設定値は28℃ですが、28℃以下で設定にしてあったのは164箇所です。全体の76%でした。

実験室内のフリーザー等の熱を下げるために28℃以下の設定温度で空調を運転している部屋もありましたが、節電パトロールを行った印象としては、節電に対する意識が各講座によって違うように感じました。

また、空調のフィルターが汚れている箇所について、フィルターの清掃方法及びフィルターが汚れた場合の影響についての説明を行いました。

フィルターの汚れ(図2)不在時の空調運転(図3)の結果は下記のとおりです。



有機溶剤を取扱う際の注意事項（掲示内容）が一部変更になりました。

H27.1.1 より有機溶剤を取り扱う際の注意事項に関する掲示が一部変更になりました。
有機溶剤を使用する部署においては、実験室等に掲示して下さい。

- 第一種有機溶剤等
- 第二種有機溶剤等
- 第三種有機溶剤等

有機溶剤等使用の注意事項

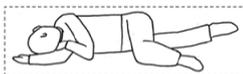
- 一 人体に及ぼす作用(主な症状)
 (1)頭痛 (2)けん怠感 (3)めまい (4)貧血 (5)肝臓障害
- 二 取扱い上の注意事項
 (1)有機溶剤を入れた容器で使用でないものには、必ずふたをすること。
 (2)当日の作業に直接必要のある量以外の有機溶剤等を作業場内へ持ち込まないこと。
 (3)できるだけ風上で作業を行い、有機溶剤の蒸気の吸入をさけること。
 (4)できるだけ有機溶剤等を皮膚にふれないようにすること。
- 三 中毒が発生したときの応急処置
 (1)中毒にかかった者を直ちに通風のよい場所に移し、速やかに衛生管理者その他の衛生管理を担当する者に連絡すること。
 (2)中毒にかかった者を横向きに寝かせ、できるだけ気道を確保した状態で身体保温に努めること。
 (3)中毒にかかった者が意識を失っている場合は、消防機関への通報を行うこと。
 (4)中毒にかかった者の呼吸が止まった場合や正常でない場合は、速やかに人工呼吸を行うこと。

平成27年1月1日現在

| 有機溶剤による中毒が発生したときの応急処置について掲示すべき内容 | |
|--|---|
| 改正前 | 改正後 |
| 中毒にかかった者を直ちに通風のよい場所に移し、速やかに衛生管理者その他の衛生管理を担当する者に連絡すること。 | 中毒にかかった者を横向きに寝かせ、気道を確保した状態 [※] で、身体保温に努めること。 |
| 中毒にかかった者の頭を低くして横向き又は仰向きに寝かせ、身体保温に努めること。 | 中毒にかかった者を横向きに寝かせ、気道を確保した状態 [※] で、身体保温に努めること。 |
| 中毒にかかった者が意識を失っている場合は、口中の異物を取り除くこと。 | 中毒にかかった者が意識を失っている場合は、消防機関への通報を行うこと。 |
| 中毒にかかった者の呼吸が止まった場合は、速やかに人工呼吸を行うこと。 | 中毒にかかった者の呼吸が止まった場合や正常でない場合は、速やかに仰向きにして心肺再生を行うこと。 |

※ 回復体位

横向きに寝かせて、できるだけ気道を広げた状態にする。膝を軽く曲げ、下側の腕は体の前に伸ばし、上側の腕を曲げて、その手の甲に顔をのせる。



< 掲示 >

下記 URL よりダウンロードして下さい。

< 掲示 >

http://www.shimane-u.ac.jp/files/00161190/youkiyouzai_keiji_27_1_1.pdf

EMS 事務局からのお知らせ

EMS 事務局では、みなさんから省エネのアイデアを募集しております。
我が家での成功例など大学での省エネに有効なものがありましたら、以下のEMS 事務局までお寄せいただきたいと思います。ご協力をよろしくお願い致します。

学内関係者には、EMS 関係会議の議事録、EMS 研修の資料、環境に関する諸規則・マニュアル等が参照できますのでご利用ください。

その他、EMS に関するご意見等ございましたら、以下の連絡先又はホームページ「キャンパス環境投書箱」へお寄せください。

- 島根大学出雲キャンパス EMS 事務局
 財務部施設企画課（出雲）環境マネジメント担当
 TEL 0853-20-2549
 FAX 0853-20-2049
 E-Mail fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp

- 島根大学ホームページ「環境マネジメントシステム」
 出雲キャンパスでのEMS 活動内
 キャンパス環境投書箱
<http://www.leaf.shimane-u.ac.jp/enquete/no/SVkljsVv0n>

